

2024度環境経営レポート

エコアクション21

活動期間 2024年4月1日～2025年3月31日



®環境省

エコアクション21

認証番号0004402

株式会社 前河建設

作成日：2025年5月10日

発行責任者：前河 一義

1.取組対象組織・活動

(1) 事業者名及び代表社名

株式会社 前河建設

代表取締役 前河 一義

(2) 所在地

〒520-1132 滋賀県高島市拝戸774番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者及び連絡担当者:代表取締役 前河 一義

TEL:0740-37-0001

FAX:0740-37-0003

E-mail:haido774@nike.eonet.ne.jp

(4) 事業内容

・建設業

・会社設立 1969年7月26日(昭和44年7月26日)

(5) 事業の規模

		単位	2022年度	2023年度	2024年度
資本金		万円	2,000	2,000	2,000
売上高		万円	41,500	35,600	27,100
従業員数		人	12	8	11
建物延床	本社事務所	m ²	178	178	178
	倉庫・資材置場	m ²	1,600	1,600	1,600
駐車場		m ²	3,925	3,925	3,925

(6) 事業年度:毎年6月1日から翌年5月31日

(7) 環境活動期間:毎年4月1日から翌年3月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:株式会社 前河建設

対象事業所:本社

活 動: 建設工事(土木工事業、とび・土工工事業、造園工事業、舗装工事業、管工事業、水道施設工事業)

初回認証登録日:2009年11月26日

□事業許可の内容

建設業許可証明書	
許可番号	滋賀県知事許可(般-17)第80062号
種 類	とび・土木工事業、造園工事業、管工事業、解体業
許可年月日	平成27年9月6日
有効期限	令和7年9月5日

建設業許可証明書	
許可番号	滋賀県知事許可(特-22)第80062号
種 類	土木工事業、ほ装工事業、水道設備工事業
許可年月日	平成27年9月6日
有効期限	令和7年9月5日

その他、産業廃棄物収集運搬業許可証(許可番号:滋賀県第2500121873号)を保有しているが事業としては行っていない。

□保有建設機械等の種類 2024年4月現在

建設機械の種類	メーカー名	型式	保有台数	備考
ショベル系掘削機	コマツ	PC228US-10	1台	
ショベル系掘削機	コマツ	PC200-11	1台	
ショベル系掘削機	コマツ	PC30MR-5	1台	
ショベル系掘削機	コマツ	PC78US-8	1台	
ショベル系掘削機	コマツ	PC78UU-10	1台	
ショベル系掘削機	コマツ	PC120-11	1台	
ショベル系掘削機	コマツ	PC138US-10	1台	
ショベル系掘削機	コマツ	PC30UU-6	1台	
モーターグレーダー	キャタピラ三菱	MG3-H	1台	
トラクターショベル	コマツ	WA200-7	1台	
トラクターショベル	コマツ	WA200-1	1台	
大型ダンプ	日野	U-F2FKBD	1台	

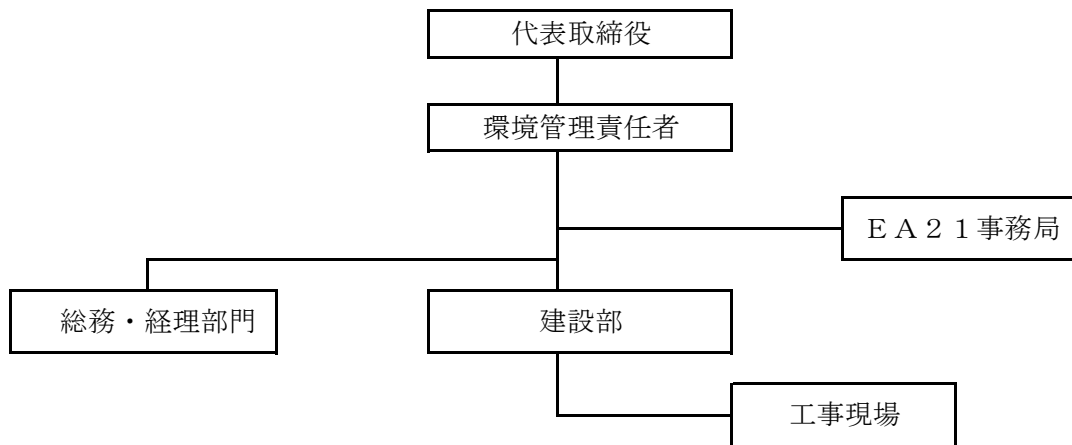
□主な環境負荷の過去3年間の実績

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	158,239	588,835	109,185
二酸化炭素排出量/百万円原単位	kg-CO ₂ /百万円	381	1,654	402.9
産業廃棄物排出量	t	639	603	163.3
水使用量	m ³	48	48	48
化学物質使用量	kg	使用なし	使用なし	使用なし

※環境負荷の集計期間:4月1日～3月31日

※二酸化炭素排出量係数:0.418kg-CO2/kWh:調整後排出係数(関西電力:2017年度)

※上表の二酸化炭素排出量には目標に掲げていないLPG(365kg-CO₂)が含まれます。



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 ②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。) ③環境管理責任者を任命する。 ④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。 ⑤代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。 ⑥環境経営レポートを承認する
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。 ②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。 ③法規制等の遵守状況をチェックする。 ④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。 ⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。 ⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。 ⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。 ⑧EA2 1に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA2 1事務局への達成状況の報告。 ②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA2 1事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。 ②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。 ③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。 ④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。 ⑤文書及び記録の管理保管。 ⑥外部コミュニケーションの窓口。 ⑦内部コミュニケーションの運営管理。 ⑧従業員に対する教育訓練の実施。 ⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。 ⑩環境経営レポートを作成。
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環 境 経 営 方 針

<環境理念>

私たちが、事業活動を行うことにより、環境への影響を与えていることを自覚し、環境負荷の低減を図るために、環境方針の理解と意識の向上を図り、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組める会社づくりを目指します。

<環境保全への行動指針>

環境への取組を進めるため、以下の事項について取組み継続的改善を行います。

1. 当社が守らなければならない環境関連法規や条例等を明らかにし、これを遵守します。
2. 環境改善のために環境経営目標を定め、定期的に見直し、継続的な環境負荷の低減を目指します。
3. 事業活動に伴う環境影響を低減するため、以下の活動を実施します。
 - 1) 事業活動全般において、地球温暖化防止のため、エネルギーの使用を低減し、二酸化炭素の削減に取り組めます。
 - 2) 循環型社会に向けて、資材等の使用を節約すると共に、廃棄物の発生を減らし、発生した廃棄物の再生及びリサイクルに取り組めます。
 - 3) 水の使用の削減すると共に建設現場において濁水・油流出防止監視を実施します。
 - 4) 現場での環境配慮に応じた工法、作業の取組みを行います。
 - 5) 地域社会の環境保全活動に参加します。
 - 6) 化学物質を使用する場合は、適切な取扱い及び管理を行います。
4. 全従業員にこの環境経営方針を周知させます。



制定日：2009年3月1日

最終改定日：2024年4月1日

株式会社 前河建設

代表取締役

前河一義

3 環境経営目標とその実績

2019年度の実績を基準値として、2020年度から2025年度までの目標を下記の通り設定し、環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2024年度（2024年4月1日から2025年3月31日）の運用実績について取りまとめました。

環境経営方針	取組項目	年度 単位	2019年度 基準年	取組年（2024年度） 2024年4月～2025年3月		2025年度	2026年度
			（実績）	（目標）	対基準年比 （実績）	（目標）	（目標）
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減	%	100%	96%	77.2%	95%	94%
		使用量	45,458	43,640	35,116	43,185	42,731
		(kg-CO2)	19,001	18,241	14,678	18,051	17,861
	自動車燃料（ガソリン）使用量の削減	%	100%	96%	125.4%	95%	94%
		使用量	6,708	6,440	8,415	6,373	6,053
		(kg-CO2)	15,563	14,940	19,523	14,784	14,629
	建設機械燃料（軽油）使用量の削減	%	100%	96%	92.8%	95%	94%
		使用量	29,957	28,759	27,789	28,459	27,033
		(kg-CO2)	77,289	74,197	71,696	73,425	72,652
	ストーブ（灯油）使用量の削減	%	100%	96%	106.4%	95%	94%
		使用量	1,103	1,059	1,174	1,048	1,037
		(kg-CO2)	2,746	2,637	2,923	2,609	2,582
二酸化炭素排出量削減		%	100%	96%	95.0%	95%	94%
		(kg-CO2)	114,600	110,016	108,820	108,870	107,724
二酸化炭素排出量/売上百万円当り 原単位削減		%	100%	96%	109.0%	95%	94%
		売上高 （百万円）	311	-	271	-	-
		CO2/百万円	368	354	402	350	346
建設副産物のリサイクル率の向上	建設副産物のリサイクル率の向上	%	-	-	124.8%	-	-
		(%/年)	100%	80%	99.8%	80%	80%
水道水の削減	水道水の削減	%	100%	96%	100%	95%	94%
		(㎡/年)	48	46	48	46	43
環境に配慮した工法・地域環境保全活動の推進	濁水・油流出防止監視を実施	%	-	-	100%	-	-
		(実施率 %)	100	100%	100%	100	100
	低騒音・低振動型重機、排ガス規制適合車の使用	%	-	-	100%	-	-
		(実施率 %)	100	100%	100%	100	100
	地域環境保全活動の推進	回	-	-	100%	100%	100%
		(以上/年)	12	12	12	12	12

目標の説明や補足事項

- 購入電力の排出係数は関西電力2017年度の調整後排出係数0.418kg-CO2/kWhを使用します。
- LPGは事務所湯茶用の使用のみであり365kg-CO2のため目標は設定しません。（CO2の把握は行います。）
- 廃棄物排出量は、事業活動からの廃棄物に対して総量を把握して、建設リサイクル80%推進します。
- 水使用量については、事務所敷地内における水使用量の削減を実施します。また建設現場では、濁水・油流出防止監視を実施します。
- 化学物質の取扱いとは現在使用の可能性は無いので、目標に掲げない。但し使用する時にはSDSにて適正管理を行います。
- 環境配慮施工では、建設現場での濁水・油流出防止監視及び低騒音・低振動型重機、排ガス規制適合車等の環境配慮車両を使用します。
- 地域環境保全活動は、滋賀県の美知メセナ制度（公共的場所の美化および保全活動）に参加し地域の美化活動を行います。
- 上記の目標のほか、作業場の環境及び品質安全向上ために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組めます。

4 環境経営計画

環境経営方針	取組項目	環境経営計画の内容	責任部門・担当者
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減	① 不用時の消灯。 ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ。 ③ エアコンの温度管理（夏季28℃±1℃）。	総務経理部門
	自動車燃料（ガソリン）使用量の削減	① エコドライブの励行。 ② 暖機運転・アイドリングストップ。 ③ 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認。 ④ 重機の効率的な稼働。	建設部
	建設機械燃料（軽油）使用量の削減		
	ストーブ（灯油）使用量の削減	① ストーブの温度管理（冬季20℃±1℃）	総務経理部門
建設副産物のリサイクル率の向上	建設副産物のリサイクル率の向上	廃棄物 ① 廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。 ② 無駄な資機材を購入しない。 ③ 使用済みコピー用紙を再利用する・	建設部
水道水の削減 環境に配慮した工法・地域環境保全活動の推進	水道水の削減	① 洗車の水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗い物はしない。	総務経理部門
	濁水・油流出防止監視を実施	① 濁水防止の適正監視する。 ② 環境配慮型建設機械を使用する。 ③ 美知メセナでの清掃活動。	建設部
	低騒音・低振動型重機、排ガス規制適合車の使用		
	地域環境保全活動の推進		

取組の紹介

- 1 美知メセナ制度とは滋賀県と協定を締結して、地域の清掃活動をボランティアで行う活動です。
- 2 滋賀県主催の地域環境美化活動である「ごみゼロ大作戦」に積極的に参加する。

5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

*評価：○ 達成 △ 基準年比110%以内 × 未達

環境経営方針	取組項目	年度	取組年（2024年度） 2024年4月～2025年3月		評価	取組の評価
			（目標）	対基準年比 （実績）		
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減	%	96%	77.2%	○	不在時の消灯やエアコンの温度管理を行った。
		使用量	43,640	35,116		
		(kg-CO2)	18,241	14,678		
	自動車燃料（ガソリン）使用量の削減	%	96%	125.4%	×	エコドライブや、現場への移動の乗り合わせ等行ったが遠方の建設現場が多く未達となった。今後工事用車輛やダンプのエコドライブを更に徹底して行きたい。
		使用量	6,440	8,415		
		(kg-CO2)	14,940	19,523		
	建設機械燃料（軽油）使用量の削減	%	96%	92.8%	○	土木工事が重なり建設機械をフル稼働させ使用量が急増した。今後建設機械の省エネ運転、重機の効率的な稼働を更に徹底して行きたい。
		使用量	28,759	27,789		
		(kg-CO2)	74,197	71,696		
	ストーブ（灯油）使用量の削減	%	96%	106.4%	△	エアコンの使用と調整し温度管理を行ったが、厳冬のため灯油使用量の目標は少し超過した。
		使用量	1,059	1,174		
		(kg-CO2)	2,637	2,923		
二酸化炭素排出量削減		%	96%	95.0%	○	—
		(kg-CO2)	110,016	108,820		
二酸化炭素排出量/売上百万円当り原単位削減		%	96%	109.0%	△	
		売上高 (百万円)	—	271		
		CO2/百万円	354	402		
建設副産物のリサイクル率の向上	建設副産物のリサイクル率の向上	%	—	125%	○	工事内容により削減は困難なことも多いが、分別を徹底してリサイクル率は目標を達成した。今後も継続して取り組む。
		(%/年)	80%	100%		
水道水の削減	水道水の削減	%	96%	100%	△	年間通じて節水に努めた。
		(㎥/年)	46	48		
環境に配慮した工法・地域環境保全活動の推進	濁水・油流出防止監視を実施	%	—	100%	○	全ての工事で低騒音建設機械を使用し、濁水・油流出事故の発生もなかった。美知メセナも毎月実施できた。
		(実施率 %)	100%	100%		
	低騒音・低振動型重機、排ガス規制適合車の使用	%	—	100%	○	
		(実施率 %)	100%	100%		
	地域環境保全活動の推進	回	—	100%	○	
		(以上/年)	12	12		

今年度の主な環境経営計画の実績・取組結果の内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取組みでは、*アイドリングストップ* や*エコドライブ*、重機の効率的な稼働等の目標達成手段を実施した
- 2 廃棄物は分別を実施して削減及び建設リサイクルに努めた
- 3 水使用量の削減では車輛の洗車の使用量削減や流し放しで使用しないように努めた。また建設現場では濁水防止監視を実施した
- 4 環境配慮施工では低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車を使用した
- 5 環境美化活動は計画通り、美知メセナ活動に参加した

次年度の主な環境経営計画の内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取組みでは、*アイドリングストップ* や*エコドライブ*、重機の効率的な稼働等の目標達成手段を実施します。
- 2 廃棄物は分別を実施して削減及び建設リサイクルに努めます。
- 3 水使用量の削減では車輛の洗車の使用量削減や流し放しで使用しないように努める。また建設現場では濁水防止監視を実施します。
- 4 環境美化活動は計画通り、美知メセナ活動に参加します。
- 5 環境経営目標の達成取組みと共に、作業場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組む、意識を持って全員で実践します。

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券	遵守
大気汚染防止法	対象特定工事の届出、規制値の遵守、特定粉じん作業、解体時の事前調査	遵守
家電リサイクル法	家電リサイクル券	遵守
騒音規制法	対象特定施設の届出、対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定施設の届出、対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の定期点検、引渡し、点検記録の保存、解体時の調査	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守
注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。		

7 代表者による全体評価と見直し・指示

全員参加型で活動を進めて来ました。その結果、社内で活動が定着し、一人ひとりが状況を理解し、活動する必要があると言う思いを忘れず取り組んでいる状況です。今年度は、電力使用量は節電や事務所不在時のエアコン未利用などで削減に取り組んだが、結果目標達成となった。又、ガソリン使用量は乗り合わせやエコドライブの実施行ったが遠距離の現場も多く目標未達となった。軽油使用量は建設機械や大型ダンプ車の稼働の多い土木工事が重なったが、目標を達成した。結果として二酸化炭素の排出量が基準年比95%と目標を達成した。今年度は異常な年度であったと判断する。今後も建設機械の省エネ運転やダンプのエコドライブを更に徹底して行きたい。環境への取組そのものには問題はなく、環境経営方針、実施体制は変更しないが、環境経営目標・計画は変更し、取組みを継続する。

環境経営方針	☐ 変更あり	☒ 変更なし
環境経営目標・計画	☒ 変更あり	☐ 変更なし
実施体制	☐ 変更あり	☒ 変更なし

環境への取組

美知メセナ（環境整備活動）

